

課目名 関係法規・制度		授業形態 講義	単位（時間） 1（30）
テキスト 関係法規・制度（日本理容美容教育センター）		対象学科 理容科・美容科	学年 2年
授業担当者 末廣 敏昭		担当教員の実務経験	
授業の概要 社会の中での法律行為を理解する基礎作りをもとに理容師法・美容師法や関連法規の構成などを学ぶ			
教育目標 国家試験問題対応基礎力習得、理美容師としての必要な関係法規・制度に関する知識の習得			
評価方法 単位認定は前・後期試験とも50点以上 授業の出席時間数70%以上			

授業計画

学期	月	予定 回数	項目	内容	備考
前期	4	3	法制度の概要	社会生活における法の役割/法の形式 衛生法規の概要/理容師法・美容師法と附属法令	
	5	4	衛生行政の概要	衛生行政の意義と歴史 衛生行政の分類と生活衛生行政の内容	
	6	4	衛生行政の概要	衛生行政を担う行政機関	
	7	3	理容師法・美容師法	用語の定義	
	8	1	理容師法・美容師法	人(理容師・美容師)に関する規定	
	9	3	理容師法・美容師法	人(理容師・美容師)に関する規定	
後期	10	4	理容師法・美容師法	施設(理容所・美容所)に関する規定 立入検査と環境衛生監視員	
	11	3	理容師法・美容師法	違反者等に関する行政処分	
	12	1	理容師法・美容師法	罰則	
	1	3	関連法規	理容業・美容業の運営に関する法律	
	2	4	関連法規	理容業・美容業の衛生に関する法律 理容業・美容業の消費者保護に関連する法律	
	3				
合計回数		33			

課目名 香粧品化学		授業形態 講義	単位（時間） 1（30）
テキスト 香粧品化学（日本理容美容教育センター）		対象学科 理容科・美容科	学年 2年
授業担当者 藤田 長一		担当教員の実務経験	
授業の概要 理・美容師が多用する香粧品の原料、配合や使用方法、安全性等についての知識を深める			
教育目標 国家試験問題対応基礎力習得、理・美容師としての必要な香粧品に関する知識の習得			
評価方法 単位認定は前・後期試験とも50点以上 授業の出席時間数70%以上			

授業計画

学期	月	予定回数	項目	内容	備考
前期	4	3	香粧品各論 スキンケア製品	香粧品の効果と使用プロセス スキンケア製品の役割、クレンジング用香粧品	
	5	3	香粧品各論 クレンジング用香粧品	コンディショニング香粧品 クリーム、乳液、トリートメント	
	6	5	香粧品各論 トリートメント用香粧品	トリートメント、化粧液、化粧水 サンケア製品、ニキビ用香粧品	
	7	2	香粧品各論 美白用香粧品	打粉、パック剤	
	8	1	香粧品各論 前期総復習	演習問題	
	9	3	香粧品各論 メイクアップ製品	メイクアップ製品の種類と剤形 ベースメイクアップ香粧品、おしろい、ファンデーション	
後期	10	4	香粧品各論 ポイントメイクアップ香粧品	紅類、アイメイクアップ香粧品 演習問題	
	11	3	香粧品各論 まつ毛ケア製品	まつ毛ケア製品、ネイルメイクアップ製品 マニキュア、ネイルケア、エナメルリムーバー	
	12	4	香粧品各論 ヘアケア、ヘアメイクアップ	ヘアクレンジング、ヘアコンディショニング、ヘアスタイリング、シャンプー、ヘアリンス料	
	1	1	香粧品各論 パーマ剤他	パーマの原理、ヘアカラー	
	2	4	香粧品各論 ヘアカラー、スカルプケア	脱色剤、脱染剤、永久染毛剤、脱毛、スカルプケア製品、スカルプトリートメント	
	3	0			
合計回数		33			

令和 8 年度 シラバス

課目名 香粧品化学	授業形態 講義	単位（時間） 1（30）
テキスト 香粧品化学（日本理容美容教育センター）	対象学科 理容科・美容科	学年 1 年
授業担当者 荒川 由美子	担当教員の実務経験	
授業の概要：まず総論として、香粧品の定義、法定な根拠と安全性、成り立ちや原料について学ぶ。 後半は、各論のうちのスキンケア製品について学びを深める。		
教育目標：①国家試験合格のための実力をつける。 ②科学的知識を持ったプロフェッショナルを目指す。③授業で人間性を高める		
評価方法：単位認定は、前期後期とも考査50点以上 授業の出席時間数70%以上		

授業計画

学期	月	予定 回数	項目	内容	備考
前期	4	2	香粧品化学を学ぶにあたって	この授業で何を学ぶのか、なぜ学ぶのか、何をを目指すのかを知る。	
	5	3	第 1 編 香粧品総論 第 1 章 香粧品総論	香粧品とは何かを知り、香粧品と造形、効果と使用プロセスについて学ぶ。	
	6	4	第 2 章 香粧品を使用する際に気を付けるべきこと	使用によるトラブル、香粧品の定義と法規制、安全性と安定性について学ぶ。	
	7	3	第 3 章 香粧品の成り立ち	香粧品の成り立ちを知り、香粧品の原料の種類と性質を学ぶ。	
	8	1		油性原料について学ぶ。	
	9	3		界面活性剤と高分子化合物について学ぶ。	
後期	10	4		香粧品の原料のうち、色材、香料について学ぶ。	
	11	3		防腐剤、殺菌剤など機能性配合原料について学ぶ。	
	12	3	第 2 編 香粧品各論 第 1 章スキンケア製品	スキンケア製品の役割と分類、その性質を学ぶ。	
	1	2		クレンジング、コンディショニング用香粧品の作用について学ぶ。	
	2	5		サンケア、美白などのトリートメント用香粧品について学ぶ。	
	3	2	総復習	1 年間の総復習を行い、知識を定着させる。	
合計回数		35			

課目名 保健	授業形態 講義	単位（時間） 2（60）
テキスト 保健（日本理容美容教育センター）	対象学科 理容科・美容科	学年 1年
授業担当者 笹山 留美子 稲村 有希 黒沢 宣仁	担当教員の実務経験	
授業の概要： 人体の機能や構造について頭頸部を中心に解剖を学び理解を深める		
教育目標： 国家試験問題対応基礎力習得、理美容師としての必要な知識の習得		
評価方法： 単位認定は前・後期試験とも50点以上 授業の出席時間数70％以上		

授業計画

学期	月	予定 回数	項目	内容	備考
前期	4	3	頭部、顔部、頸部の 体表解剖学	人体各部の名称 頭部、顔部、頸部の体表解剖学	
	5	7	骨格器系	骨の種類と構造、骨の連結 骨格器系とそのはたらき	
	6	8	筋系	筋の種類とその特徴、主な骨格筋とそのはたらき 表情 筋と表情運動、理・美容の作業と筋疲労	
	7	4	神経系・感覚器系	神経系の成り立ち、中枢神経系とそのはたらき・視覚、 聴覚、平衡感覚、味覚、嗅覚、皮膚感覚 末梢神経系とそのはたらき	
	8	2	まとめ		
	9	6	血液・免疫系 循環器系	血液のあらまし、血液循環のしくみ、血液の循環経路 心臓と血管のはたらき、リンパ系の仕組み	
後期	10	9	呼吸器系・消化器系	呼吸器系のあらまし、気道、 肺の仕組みとガス交換、呼吸運動消化器系のあらまし、 消化管の仕組み	
	11	7	まとめ		
	12	5	皮膚の構造	皮膚の表面・断面、表皮の構造、真皮の構造 皮下組織の構造、皮膚の部位差	
	1	5	皮膚付属器官の構造	毛の構造、脂腺の構造、汗腺の構造、爪の構造・皮膚の 血管、皮膚のリンパ管、皮膚の神経	
	2	8	皮膚付属器官の 生理機能	対外保護作用、体温調節作用、知覚作用と反射作用 分泌排泄作用、呼吸作用	
	3				
合計回数		64			

課目名 保健	授業形態 講義	単位（時間） 1（30）
テキスト 保健（日本理容美容教育センター）	対象学科 理容科・美容科	学年 2年
授業担当者 笹山 留美子 稲村 有希 黒沢 宣仁	担当教員の実務経験	
授業の概要： お客様の頭皮、毛髪、肌の健康管理ができる知識を得るために、特に皮膚や毛髪に関する理解を深める		
教育目標： 国家試験問題対応基礎力習得、理美容師としての必要な知識の習得		
評価方法： 単位認定は前・後期試験とも50点以上 授業の出席時間数70％以上		

授業計画

学期	月	予定 回数	項目	内容	備考
前期	4	3	皮膚と皮膚付属機関の生理機能	吸収作用、貯蔵作用、免疫・解毒・排除作用 再生作用、毛のはたらき、爪のはたらき	
	5	4	皮膚と皮膚付属器官の保健	皮膚と全身状態、皮膚と精神、皮膚と栄養 皮膚とし好品	
	6	5	皮膚と皮膚付属器官の保健	皮膚と体内病変、皮膚の水分と脂の状態 皮膚・付属器官とホルモン、皮膚・毛・爪の保護と手入れ、子供のおしゃれによる皮膚トラブル	
	7	2	皮膚と皮膚付属器官の疾患	皮膚の異常とその種類、皮膚疾患の原因・治療法 皮膚炎と湿疹・蕁麻疹・薬疹、口唇の疾患	
	8	1	まとめ		
	9	3	皮膚と皮膚付属器官の疾患	温熱・寒冷による皮膚障害、角化異常による皮膚疾患 色素異常による皮膚疾患、血管腫、脂腺母斑	
後期	10	5	皮膚と皮膚付属器官の疾患	下肢静脈瘤、分泌異常による皮膚疾患 化膿菌・ウイルス・真菌による皮膚疾患	
	11	3	皮膚と皮膚付属器官の疾患	衛生害虫による皮膚疾患、感染症の皮膚疾患の 予防 毛と爪の疾患、皮膚の腫瘍	
	12	2	まとめ		
	1	1	国家試験対策		
	2	4	国家試験対策		
	3				
合計回数		33			

課目名 衛生管理(公衆衛生・環境衛生)	授業形態 講義	単位（時間） 1（30）
テキスト 衛生管理（日本理容美容教育センター）	対象学科 理容科・美容科	学年 2年
授業担当者 笹山 留美子 黒沢 宣仁	担当教員の実務経験	
授業の概要： 理・美容業を行う上で公衆衛生の向上に努め、事業所の環境衛生を実践するための知識を深める		
教育目標： 国家試験問題対応基礎力習得、理美容師としての必要な公衆衛生や環境衛生に関する知識の習得		
評価方法： 単位認定は前・後期試験とも50点以上 授業の出席時間数70％以上		

授業計画

学期	月	予定 回数	項目	内容	備考
前期	4	3	公衆衛生の意義と課題 公衆衛生発展の歴史	公衆衛生の意義と課題 欧米の公衆衛生の歩み	
	5	4	公衆衛生発展の歴史 理容師・美容師と公衆衛生	歴史の中の理容師・美容師と公衆衛生 公衆衛生と理容師・美容師 保健所と理容業・美容業	
	6	4	保健	母子保健、成人・高齢者保健	
	7	3	保健	成人・高齢者保健、精神保健	
	8	1	まとめ	公衆衛生の概要まとめ、保健まとめ	
	9	3	環境衛生の概要 空気環境	環境衛生の内容、環境衛生の目的と意義 環境衛生活動、空気と健康	
後期	10	5	空気環境 衣服と住居の環境	温熱環境と健康 衣服の衛生、住居の衛生	
	11	3	上・下水道と廃棄物	上水道、下水道、廃棄物	
	12	2	衛生害虫とネズミ 環境保全	衛生害虫、ネズミ、水質汚濁	
	1	3	まとめ 国家試験対策	環境衛生まとめ、国家試験対策	
	2	3	国家試験対策	国家試験対策	
	3				
合計回数		34			

課目名 衛生管理(感染症)	授業形態 講義	単位（時間） 1（30）
テキスト 衛生管理（日本理容美容教育センター）	対象学科 理容科・美容科	学年 2年
授業担当者 笹山 留美子 黒沢 宣仁	担当教員の実務経験	
授業の概要： 理・美容を行う上で、感染症に対する正しい知識を身につけ、衛生上の危害を防止するだけの知識を深める。		
教育目標： 感染症の知識のうち、とりわけ予防接種の効果、感染症の予防対策等は、理・美容業と密接な関連があるので十分理解する。		
評価方法： 単位認定は前・後期試験とも50点以上 授業の出席時間数70％以上		

授業計画

学期	月	予定 回数	項目	内容	備考
前期	4	3	人と感染症	疫病の歴史、感染症発見の歴史、 感染症と法律	
	5	3	人と感染症、病原微生物	感染症の分類、微生物の種類	
	6	5	病原微生物 感染症の予防	微生物の形と大きさ、微生物の構造 微生物の増殖と環境の影響 微生物の病原性と人体の感受性、汚染、感染及び発病	
	7	3	感染症の予防	常在細菌叢、免疫と予防接種 感染症発生の要因、感染症予防の三原則	
	8	2	まとめ	感染症総論まとめ、復習	
	9	3	理容業・美容業と 感染症、主な感染症	空気・飛沫を介して感染する感染症 飲食物を介して感染する感染症	
後期	10	2	主な感染症	血液等を介して感染する感染症 動物・節足動物を介して感染する感染症	
	11	3	主な感染症 具体的な対策の例	血液等を介して感染する感染症 動物・節足動物を介して感染する感染症 標準予防策、せきのある客への対応	
	12	2	具体的な対策の例	病変の皮膚をもつ客への対応 嘔吐をした客への対応	
	1	1	具体的な対策の例	客の血液で汚染された器具によって けがをした場合の対応	
	2	6	まとめ、国家試験対策	感染症各論まとめ、国家試験対策	
	3	0			
合計回数		34			

課目名 衛生管理(衛生管理技術)	授業形態 講義	単位 (時間) 1 (30)
テキスト 衛生管理 (日本理容美容教育センター)	対象学科 理容科・美容科	学年 1年
授業担当者 笹山 留美子 黒沢 宣仁	担当教員の実務経験	
授業の概要： 理・美容師として客や自身を感染から守る手段としての消毒法を学び理解を深める		
教育目標： 国家試験問題対応基礎力習得、理美容師としての必要な公衆衛生や環境衛生に関する知識の習得		
評価方法： 単位認定は前・後期試験とも50点以上 授業の出席時間数70%以上		

授業計画

学期	月	予定 回数	項目	内容	備考
前期	4	2	消毒とは/消毒の意義	病原微生物と非病原微生物/消毒の原理 汚染、感染、発病と消毒の意義 殺菌、消毒、滅菌、防腐の定義	
	5	4	理容・美容の業務と消毒との関係	消毒に関連のある法の規定/消毒を怠った場合の危険と理容師・美容師の責任	
	6	4	消毒法と適用上の注意	消毒の種類/消毒に必要な条件 病原微生物の抵抗力 消毒薬・消毒薬使用液の使用、保存上の注意	
	7	2	理学的消毒法・優れた消毒法とその実施上の注意	紫外線消毒/煮沸消毒/蒸気消毒 その他の理学的消毒法・すぐれた消毒法の条件 消毒を行う際の注意事項	
	8	1	まとめ		
	9	3	化学的消毒法	アルコール類、次亜塩素酸ナトリウム、両性界面活性剤、グルコン酸クロロヘキシジンによる消毒、その他の消毒薬等	
後期	10	4	各種消毒薬	消毒薬の概要/器具の使い方/常備しておくとい消毒薬と希釈液の濃度/消毒薬希釈法	
	11	4	理容所・美容所の消毒の実際	理容所・美容所における消毒の原則、 理容所・美容所の消毒設備 理容・美容器具類の消毒法	
	12	1	理容所・美容所の消毒の実際	理容師・美容師の手指の消毒/その他のものの消毒 理容所・美容所の消毒の現状	
	1	2	理容所・美容所の清掃法の実際	清潔保持と清掃/洗剤による洗浄法/洗い場の構造と清潔保持/清掃/刈り取った毛の処理、ふた付き汚物箱の消毒/ハエ・カの駆除	
	2	4	衛生管理の実践例	理容所・美容所における衛生管理要領 理容所・美容所の自主管理点検表	
	3	2	まとめ		
合計回数		33			

課目名 文化論	授業形態 講義	単位（時間） 1（30）
テキスト 文化論（日本理容美容教育センター）	対象学科 理容科・美容科	学年 1年
授業担当者 笹山 留美子 稲村 有希 長根 美佐子	担当教員の実務経験	
授業の概要： 理・美容業の発展について歴史の知識を深める		
教育目標： 国家試験問題対応基礎力習得		
評価方法： 単位認定は前・後期試験とも50点以上 授業の出席時間数70%以上		

授業計画

学期	月	予定 回数	項目	内容	備考
前期	4	2	総論	理容、美容とはについて	
	5	4	日本の理容業、美容業の 歴史	理容業、美容業の発生	
	6	4	日本の理容業、美容業の 歴史	江戸時代の理容業、美容業	
	7	2	日本の理容業、美容業の歴 史・ファッション文化史（日 本編）	近代・現代の理容業、美容業・縄文・弥生・古墳 時代	
	8	1	ファッション文化史 （日本編）	縄文・弥生・古墳時代 古代（飛鳥、奈良、平安時代）まとめ	
	9	3	ファッション文化史 （日本編）	中世（平安、鎌倉、室町、戦国時代） 近世（戦国、安土桃山時代）	
後期	10	5	ファッション文化史 （日本編）	近世（江戸時代） 近代（明治、大正、昭和）	
	11	3	ファッション文化史 （日本編）	現代 1945年から1950年代	
	12	2	ファッション文化史 （日本編）	現代 1960年代～1970年代	
	1	3	ファッション文化史 （日本編）	現代 1980年代～2010年代	
	2	3	ファッション文化史 （西洋編）	古代エジプト・ギリシャ・ローマ	
	3	1	ファッション文化史 （西洋編）	古代ゲルマン	
合計回数		33			

課目名 文化論	授業形態 講義	単位（時間） 1（30）
テキスト 文化論（日本理容美容教育センター）	対象学科 理容科・美容科	学年 2年
授業担当者 笹山 留美子 稲村 有希 長根 美佐子	担当教員の実務経験	
授業の概要： 理、美容業の発展について歴史の知識を深める		
教育目標： 国家試験問題対応基礎力習得		
評価方法： 単位認定は前・後期試験とも50点以上 授業の出席時間数70%以上		

授業計画

学期	月	予定 回数	項目	内容	備考
前期	4	3	ファッション文化史 （西洋編）	中世ヨーロッパ、近世16世紀	
	5	4	ファッション文化史 （西洋編）	近世17世紀・18世紀	
	6	4	ファッション文化史 （西洋編）	近代19世紀	
	7	3	ファッション文化史 （西洋編）	現代 1910年代～1920年代・1930年代～ 1940年代	
	8	1	ファッション文化史 （西洋編）	現代 1940年代後半～1950年代	
	9	3	ファッション文化史 （西洋編）	現代 1960年代・1970年代	
後期	10	5	ファッション文化史 （西洋編）	現代 1980年代・1990年代～2010年	
	11	3	礼装の種類	和装の礼装	
	12	2	礼装の種類	洋装の礼装	
	1	3	年代別まとめ		
	2	4	国家試験対策		
	3				
合計回数		35			

令和6年度 シラバス

課目名 運営管理		授業形態 講義	単位（時間） 1（30）
テキスト 運営管理（日本理容美容教育センター）		対象学科 理容科・美容科	学年 2年
授業担当者 高谷 真紀子 末廣 敏昭		担当教員の実務経験	
授業の概要 経営者の考えや目指していることを知り、良い従業員として、将来経営者として成長していくための基本的な知識の習得			
教育目標 経営者の考え方や果たす責任と役割、雇用する責任、従業員として求められること、さらに顧客を満足させるサービスとどう実現させるかを学ばせるとともに国家試験対策に取り組む			
評価方法 単位認定は前・後期試験とも50点以上 授業の出席時間数70%以上			

授業計画

学期	月	予定回数	項目	内容	備考
前期	4	3	経営者の視点	経営、経営者に関する基本知識 経営の目的・経営戦略	
	5	4	経営者の視点	業界の概要 理容業・美容業における競争	
	6	4	資金の管理	資金管理の重要性・収益と損益・会計の考え方 ・税金について	
	7	3	人という資源 従業員としての視点	人という資源の特徴と課題・給与 福利厚生・労働者の権利	
	8	1	人という資源 従業員としての視点	人という資源の特徴と課題・給与 福利厚生・労働者の権利	
	9	3	人という資源 従業員としての視点	健康管理の基礎・公的年金・医療保険労働保険 キャリアプランニング	
後期	10	5	健康管理	健康管理の基礎	
	11	3	顧客のために	・サービスデザイン ・マーケティング ・サービスの改善 ・マーケティングミックス	
	12	2	顧客のために	サービスにおける人の役割 接客の実践	
	1	3	顧客のために	接客におけるトラブルと対応 トラブルにおける対策・対処	
	2	4	まとめ	まとめ 国家試験対策	
	3	0			
合計回数		35			

課目名 外国語（英語）		授業形態 講義・実習	単位（時間） 1（30）
テキスト 外国語（日本理容美容教育センター）		対象学科 理容科・美容科	学年 1年
授業担当者 モリスマイケル		担当教員の実務経験	
授業の概要 Give students the ability to talk, work and use English in their future profession as hairdressers.			
教育目標 Allow students to learn and use hair dressing English in a fun and interactive style, focusing on speaking ability			
評価方法 Students must receive a score of 50% in the class, and be present 75% of all classes.			

授業計画

学期	月	予定回数	項目	内容	備考
前期	4	2	自分について話そう	Self-Introduction: Talking about yourself	
	5	3	あいさつ お客様を迎える	Nice to meet you, too! Greeting customers Welcome to Sunny's Hair Salon :	
	6	4	電話での接客 コンサルテーション	Thank you for calling : Telephone English Would you like a new hairstyle	
	7	3	シャンプー &トリートメント ヘアカット	Is the temperature all right? Questions Can I cut about two inches off? Length and style	
	8	1	テスト		
	9	3	パーマ	Have you had a perm before? Instructions Different types of perms	
後期	10	4	ヘアカラー 仕上げ	How would you like it colored? Tones and Colors I hope you like it Asking for feedback	
	11	4	お会計 クレーム対応	Here's your new member's card. Payment style I'm sorry for the inconvenience.	
	12	1	海外研修	It's an inspiring experience! Q&A	
	1	2	サロンの場面から	Makeup Nail care	
	2	4	サロンの場面から	Shaving and Sanitation Kimono Dressing	
	3	2	まとめ		
合計回数		33			

課目名 理容技術理論	授業形態 講義	単位（時間） 3（90）
テキスト 理容技術理論1・2（日本理容美容教育センター）	対象学科 理容科	学年 1年
授業担当者 笹山 留美子 高屋敷 健人 橘 一枝	担当教員の実務経験	
授業の概要： 人の容姿を整えることに関するすべての技術の理論、基礎知識を学ぶ		
教育目標： 理容技術を理論的に十分理解し、理容技術を効率的に行うための基礎知識を習得する		
評価方法： 単位認定は前・後期試験とも50点以上 授業の出席時間数70％以上		

授業計画

学期	月	予定 回数	項目	内容	備考
前期	4	10	理容技術の基礎 理容用具	人体各部の名称・技術姿勢・トレーニング 理容用具と衛生・シザーズ・レザー・クリッパー	
	5	10	理容用具	コーム・ブラシ・ヘアアイロン ヘアドライヤー・その他	
	6	14	ヘアデザイン ヘアカッティング	ヘアスタイリングとデザイン要素 観測法・カッティングの基本原則	
	7	8	ヘアカッティング	カッティングの一般的手順	
	8	4	ヘアカッティング	スタンダードヘアの概要	
	9	8	ヘアカッティング	スタンダードヘアの用具の持ち方と操作 スタンダードヘアのカット技法	
後期	10	11	ヘアカッティング	スタンダードヘアのカット技法 デザインヘア・レディースカット	
	11	9	ヘアセッティング	ドライヤーセット・アイロンセット レディースヘアセット	
	12	2	パーマメントセット	パーマメントウェービング ワインディング	
	1	5	パーマメントセット ヘアカラーリング	アイアニング ヘアカラーリングの基礎・色彩の原理	
	2	10	ヘアカラーリング	専門剤の種類と原理・技術のプロセス ヘアカラーリング・その他の技法	
	3	2	まとめ		
合計回数					

課目名 理容技術理論	授業形態 講義	単位（時間） 2（60）
テキスト 理容技術理論1・2（日本理容美容教育センター）	対象学科 理容科	学年 2年
授業担当者 笹山 留美子 高屋敷 健人 橘 一枝	担当教員の実務経験	
授業の概要： 理容師としての心構え、理容技術の基礎理論を学ぶ事によって、理容技術の理解を高め、理容実習につなげていく		
教育目標： 技術を裏付ける基本的理論を習得させる		
評価方法： 単位認定は前・後期試験とも50点以上 授業の出席時間数70％以上		

授業計画

学期	月	予定 回数	項目	内容	備考
前期	4	6	シャンプーイング	シャンプーイングの目的、シャンプー剤の種類と特徴、シャンプーイングの方法	
	5	6	ヘッドマッサージ ヘアトリートメント	マッサージの意義と効果、技法 ヘアトリートメントの種類、技法	
	6	10	シェービング	シェービングの要件、種類、基本技術と要領 ラザーリング、スチーミングの目的、技法、注意点	
	7	6	シェービング フェイシャルトリートメント	シェービングのプロセス、シェービングの技法、シェービング後のスチーミング、フェイシャルマッサージ	
	8	4	理容エステティック	肌の種類と特徴、化粧料の種類と効果 マニピュレーション	
	9	6	理容エステティック	ネイルケア、フットケア、 アロマセラピーの目的、効果、技法	
後期	10	5	理容クリニック	カウンセリング、毛髪の基礎知識、ヘアチェック、ヘアケアとスカルプケアの種類	
	11	6	スカルプトリートメント	理容の範囲内の軽度な頭皮トラブルの解消のためのトリートメントの目的、処置の仕方	
	12	3	復習	用具、カット、カラー、パーマ	
	1	4	復習	シャンプー、シェービング	
	2	8	まとめ	国家試験対策	
	3				
合計回数		64			

課目名 理容実習	授業形態 実習	単位（時間） 15（450）
テキスト 理容技術理論1・2（日本理容美容教育センター）	対象学科 理容科	学年 1年
授業担当者 笹山 留美子 高屋敷 健人 橘 一枝	担当教員の実務経験 【理容実務経験あり】別表参照	
授業の概要： 理容の業務に必要な基本的技術を身に付け、さらに総合的な応用技術を身に付ける		
教育目標： 技術理論で学んだ基礎知識を体に身に付けさせ、自ら学ぶ姿勢を身に付ける		
評価方法： 単位認定は前・後期試験とも50点以上 授業の出席時間数70％以上		

授業計画

学期	月	予定 回数	項目	内容	備考
前期	4	50	スタンダードヘア	基本姿勢・姿勢の変化・用具の持ち方と操作	
	5	55	スタンダードヘア デザインヘア	ブロッキング・コームとシザーズの連動	
	6	61	ヘアセッティング	ドライヤーセットの基礎技術 クラシカルバック・バリエーション	
	7	26	シャンプー	スタンドシャンプーの準備、実際	
	8	18	シャンプー マッサージ	スタンドシャンプー ヘッドマッサージ	
	9	42	シャンプー シェービング	バックシャンプー レザーの持ち方、順序、拭き取り	
後期	10	57	パーマネントウェービング	ワインディングの基礎技術・ワインディング	
	11	57	パーマネントウェービング	ワインディング	
	12	22	スタンダードヘア デザインヘア	デザインカットの基礎技術 プラントカット・ストロークカット	
	1	13	スタンダードヘア デザインヘア	ミディアムヘア すくい刈り・連続刈り・指間刈り	
	2	40	パーマネントウェービング ヘアカラーリング	ワインディング カラーリングの基礎技術・白髪染め	
	3	20	パーマネントウェービング ヘアカラーリング	ワインディング・おしゃれ染め・ブリーチ	
合計回数		461			

課目名 理容実習	授業形態 実習	単位（時間） 17（510）
テキスト 理容技術理論1・2（日本理容美容教育センター）	対象学科 理容科	学年 2年
授業担当者 笹山 留美子 高屋敷 健人 橘 一枝	担当教員の実務経験 【理容実務経験あり】別表参照	
授業の概要： 国家試験合格を概念に置き、理容師に必要な心構えや基本技術を養い技術の向上を目指す		
教育目標： 理容に関する理論及び知識を身につけた上で、基礎技術を習得する		
評価方法： 単位認定は前・後期試験とも50点以上 授業の出席時間数70%以上		

授業計画

学期	月	予定 回数	項目	内容	備考
前期	4	42	スタンダードヘア デザインヘア	ミディアムヘア すくい刈り・連続刈り・指間刈り	
	5	57	スタンダードヘア デザインヘア	ミディアムヘア すくい刈り・連続刈り・指間刈り	
	6	71	スタンダードヘア デザインヘア	クリッパーワーク・ブロースカット	
	7	30	シェーピング	ネックシェーピング メンズシェーピング	
	8	12	シェーピング	レディースシェーピング	
	9	47	理容エステティック	フェイス、ネックマッサージ、パック	
後期	10	61	セット カット	ドライヤーセット スタンダードヘアカット（刈上げ）	
	11	63	セット カット	アイロンセット スタンダードヘアカット（ブロース）	
	12	25	実技試験対策	カット、シェーピング	
	1	26	実技試験対策	カット、シェーピング	
	2	38	実技試験対策	カット、シェーピング、セット	
	3	4	まとめ		
合計回数		476			

課目名	授業形態	単位（時間）
総合技術	実習	0～9(0～270)
テキスト 理容技術理論1・2 (日本理容美容教育センター)	対象学科 理容科	学年 1年
授業担当者 笹山 留美子 高屋敷 健人 橘 一枝	担当教員の実務経験 【理容実務経験あり】別表参照	
授業の概要： 理容の業務に必要な基本的技術を身に付け、さらに総合的な応用技術を身に付ける		
教育目標： 技術理論で学んだ基礎知識を体に身に付けさせ、自ら学ぶ姿勢を身に付ける		
評価方法： 理容実習の評価結果に基づき判断する		

授業計画

学期	月	予定 回数	項目	内容	備考
前期	4		スタンダードヘア	基本姿勢・姿勢の変化・用具の持ち方と操作	
	5		スタンダードヘア デザインヘア	ブロッキング・コームとシザーズの連動	
	6		ヘアセッティング	ドライヤーセットの基礎技術 クラシカルバック・バリエーション	
	7		シャンプー	スタンドシャンプーの準備、実際	
	8		シャンプー マッサージ	スタンドシャンプー ヘッドマッサージ	
	9		シャンプー シェービング	バックシャンプー レザーの持ち方、順序、拭き取り	
後期	10		パーマネントウェービング	ワインディングの基礎技術・ワインディング	
	11		パーマネントウェービング	ワインディングの基礎技術・ワインディング	
	12		スタンダードヘア デザインヘア	ミディアムヘア すくい刈り・連続刈り・指間刈り	
	1		スタンダードヘア デザインヘア	ミディアムヘア すくい刈り・連続刈り・指間刈り	
	2		スタンダードヘア デザインヘア	ミディアムヘア すくい刈り・連続刈り・指間刈り	
	3		スタンダードヘア デザインヘア	ミディアムヘア すくい刈り・連続刈り・指間刈り	
合計回数					

課目名 総合技術	授業形態 実習	単位（時間） 0～9(0～270)
テキスト 理容技術理論1・2（日本理容美容教育センター）	対象学科 理容科	学年 2年
授業担当者 笹山 留美子 高屋敷 健人 橘 一枝	担当教員の実務経験 【理容実務経験あり】別表参照	
授業の概要： 国家試験合格を概念に置き、理容師に必要な心構えや基本技術を養い技術の向上を目指す		
教育目標： 理容に関する理論及び知識を身につけた上で、基礎技術を習得する		
評価方法： 理容実習の評価結果に基づき判断する		

授業計画

学期	月	予定 回数	項目	内容	備考
前期	4		スタンダードヘア デザインヘア	クリッパーワーク・ブロースカット	
	5		パーマネントウェーピング ヘアカラーリング	ワインディング カラーリングの基礎技術・白髪染め	
	6		パーマネントウェーピング ヘアカラーリング	ワインディング・おしゃれ染め・ブリーチ	
	7		シェーピング	ネックシェーピング レディースシェーピング メンズシェーピング	
	8		シェーピング	ネックシェーピング レディースシェーピング メンズシェーピング	
	9		理容エステティック	フェイス、ネックマッサージ、パック	
後期	10		セット カット	ドライヤーセット スタンダードヘアカット（刈上げ）	
	11		セット カット	アイロンセット スタンダードヘアカット（ブロース）	
	12		実技試験対策	カット、シェーピング	
	1		実技試験対策	カット、シェーピング	
	2		実技試験対策	カット、シェーピング、セット	
	3		まとめ		
合計回数					

課目名 美容技術理論	授業形態 講義	単位（時間） 3（90）
テキスト 美容技術理論1・2（日本理容美容教育センター）	対象学科 美容科	学年 1年
授業担当者 川村 美幸 稲村 有希 舘前 麻美子	担当教員の実務経験	
授業の概要： 美容器具の種類や目的を理解し、取り扱い方法を身につけ、美容技術を効率的に行うための基礎知識を習得する。		
教育目標： 技術を裏付ける基本的理論を習得させる。		
評価方法： 単位認定は前・後期試験とも50点以上 授業の出席時間数70％以上		

授業計画

学期	月	予定 回数	項目	内容	備考
前期	4	10	美容道具	美容用具と各部の名称、消毒法を含めた手入れ方法、片付け整理整頓など指導	
	5	10	シャンプーイング	・シャンプーイング目的・ブラッシング ・シャンプー剤の種類・成分	
	6	14	カッティング	・ヘアカッティングの目的・ヘアカッティングで 사용되는道具・シザーズ、レザーの扱い方、正しい姿勢	
	7	8	カッティング	・カッティングの基礎理論・ベーシックなカット技法 ・シザーズ、レザーによるカット技法	
	8	4	パーマネントウェーピング	・パーマネントウェーブの歴史 ・毛髪について・パーマ剤の分類	
	9	8	パーマネントウェーピング	・パーマ剤に関する注意事項 ・パーマネントウェーブ技術	
後期	10	11	・ローラーカーリング ・ブロードライ	・ストランドの中心の角度によるボリュームの変化 ・ステムの方向と形・ブロードライスタイリングの目的・ハンドドライヤーとブラシの基本操作	
	11	9	・アイロンセッティング ・バックコーミング ・ヘアデザイン	・アイロンカールの種類・アイロンスタイリング ・バックコーミングの技術 ・美容とヘアデザイン	
	12	2	・アップスタイル ・ウィッグとヘアピース	・アップスタイルの一例・ウィッグ、ヘアピースの素材や製造工程上の分類、手入れ方法	
	1	5	ヘアカラーリング	・ヘアカラーの歴史・ヘアカラーの種類 ・ヘアカラーのタイプ別特徴・色の基本	
	2	10	ヘアカラーリング	・毛髪のレベルとアンダートーン ・染毛剤使用時の注意事項・ヘアカラーリングの道具・ヘアカラーの技術の手順	
	3	2	まとめ		
合計回数		54			

課目名 美容技術理論	授業形態 講義	単位（時間） 2（60）
テキスト 美容技術理論1・2（日本理容美容教育センター）	対象学科 美容科	学年 2年
授業担当者 高谷 真紀子 長根 美佐子 蒔田 翠	担当教員の実務経験	
授業の概要： 美容師としての心構え、美容技術の基礎理論を学ぶ事によって、美容技術の理解を高め、美容実習につなげていく		
教育目標： 国家試験にむけて科学的根拠と系統だった理論を理解する		
評価方法： 単位認定は前・後期試験とも50点以上 授業の出席時間数70％以上		

授業計画

学期	月	予定 回数	項目	内容	備考
前期	4	10	ウェーブ理論	オールウェーブセッティングについて	
	5	10	エステティック	概論・カウンセリング・フェイシャルケア技術・ボディケア技術	
	6	14	ネイル技術	概論・爪の構造と機能・ネイル技術と公衆衛生・爪の構造と機能・ネイルケア	
	7	8	メイクアップ	概論・皮膚の生理機能・顔・色彩 ・メイクアップ道具スキンケア	
	8	4	メイクアップ	メイクアップ・まつ毛エクステンション	
	9	8	日本髪・かつら	由来・名称・道具・結髪技術・かつら	
後期	10	11	着物	目的・礼装・各部名称・たたみかた	
	11	9	着物	着付一般概要・留袖・振袖・礼装	
	12	2	理論1・2	まとめ	
	1	5	理論1・2	まとめ	
	2	10	まとめ	国家試験対策	
	3	2			
合計回数		93			

課目名 美容実習	授業形態 講義	単位（時間） 15（450）
テキスト 美容技術理論1・2（日本理容美容教育センター） 美容師国家試験課題集(理容師美容師試験研修センター)	対象学科 美容科	学年 1年
授業担当者 川村 美幸 稲村 有希 舘前 麻美子	担当教員の実務経験 【美容実務経験あり】別表参照	
授業の概要： 国家試験合格を概念に置き、美容師に必要な心構えや基本技術を養い、技術の向上をめざす。		
教育目標： 美容に関する理論、知識と共に、美容の基本技術を習得する。		
評価方法： 単位認定は前・後期試験とも50点以上 授業の出席時間数70％以上		

授業計画

学期	月	予定 回数	項目	内容	備考
前期	4	50	・ヘアカッティング	・コームの使い方、鋏の開閉 ・ブロッキング、ワンレングスの切り方	
	5	55	・ヘアカッティング ・シャンプーイング	・ワンレングス、セイムレングスの切り方 ・タオル、シャンプークロスのかけ方、 シャンプーの手順	
	6	61	・シャンプーイング ・ワインディング	・ワンレングス、セイムレングスの切り方 ・タオル、シャンプークロスのかけ方、 シャンプーの手順	
	7	26	・シャンプーイング ・ワインディング	・シャンプーテスト ・ワインディングタイム	
	8	18	・ワインディング	・ワインディングタイム	
	9	42	・ワインディング ・ブロー ・カラー塗布	・ブロー（ドライヤー、ブラシの使い方 ワンレンブロー） ・カラー塗布（白髪染）	
後期	10	57	・ワインディング ・ブロー ・カラー塗布	・ブロー（サイドレイヤー・ショート） ・カラー塗布（ヘアマニキュア、おしゃれ染め）	
	11	57	・ワインディング	・国家試験巻きの説明 ・デザイン巻き	
	12	22	・ワインディング	・国家試験巻きタイム	
	1	13	・サロン実習	・接客やマナーを学ぶ	
	2	40	・サロン実習 ・パーマ実習	・実際に薬剤を使ってパーマをかける	
	3	20	・ヘアセッティング	・アイロン ・逆毛の立て方 ・まとめ髪	
合計回数		252			

令和 8年度 シラバス

課目名 美容実習	授業形態 講義	単位（時間） 15（450）
テキスト 美容技術理論1・2（日本理容美容教育センター） 美容師国家試験課題集(理容師美容師試験研修センター)	対象学科 美容科	学年 2年
授業担当者 高谷 真紀子 長根 美佐子 蒔田 翠	担当教員の実務経験 【美容実務経験あり】別表参照	
授業の概要：国家試験で定められた課題を作成し、合格レベルまで反復練習を行い資格習得をする サロンワークに直結した内容を学び、美容師としての奥深さを知る		
教育目標：国家試験実技課題の知識と技術を身に付け、試験に合格できるようにする 美容師に必要なデザインカット、アップスタイル、デザインカラー技術を身に付ける		
評価方法： 単位認定は前・後期試験とも50点以上 授業の出席時間数70％以上		

授業計画

学期	月	予定 回数	項目	内容	備考
前期	4		第二課題ウェーブ ワインディング	課題作成の説明・注意点・ウェーブの基本 国家試験作成時間20分作品作成	
	5		ピンカール 展示作品・ワインディング	ピンカール4種類の作り方・注意点 カット・アップスタイルの作成、WD規定タイム	
	6		第二課題ウェーブ バックシャンプー	課題作成、全頭のバランス確認、注意点 シャンプーイング	
	7		第二課題ウェーブ ワインディング	課題作成、全頭のバランス確認、注意点 前期試験に向けての仕上がり確認	
	8		第二課題ウェーブ ワインディング	課題作成、全頭のバランス確認、注意点 前期試験に向けての仕上がり確認	
	9		ピンカール 展示作品・ワインディング	規定タイムで課題作成を目指す カット・アップスタイルの作成、WD規定タイム	
後期	10		第二課題ウェーブ 第一課題カット	規定タイムで課題作成を目指す 課題作成の説明・カット理論復習	
	11		第一課題カット 衛生面の説明	各ブロックブロックング・全頭カット 準備・注意事項確認	
	12		第一課題第二課題 衛生面チェック	国家試験本番の流れを通して、本番を想定する 規定タイムで課題作成	
	1		第一第二衛生 ネイル・エステ・着付け	国家試験本番の流れを通して、本番を想定する 規定タイムで課題作成	
	2		第一課題第二課題 衛生面チェック	国家試験本番の流れを通して、本番を想定する 規定タイムで課題作成	
	3		まとめ		
合計回数					

課目名 総合技術	授業形態 実習	単位（時間） 0～9(0～270)
テキスト 美容技術理論1・2（日本理容美容教育センター） 美容師国家試験課題集(理容師美容師試験研修センター)	対象学科 美容科	学年 1年
授業担当者 川村 美幸 稲村 有希 舘前 麻美子	担当教員の実務経験 【美容実務経験あり】別表参照	
授業の概要： 国家試験合格を概念に置き、美容師に必要な心構えや基本技術を養い、技術の向上をめざす。		
教育目標： 美容に関する理論、知識と共に、美容の基本技術を習得する。		
評価方法： 美容実習の評価結果に基づき判断する		

授業計画

学期	月	予定 回数	項目	内容	備考
前期	4		・ヘアカッティング	・ コームの使い方、鉗の開閉 ブロッキング、ワンレングスの切り方	
	5		・ヘアカッティング ・シャンプーイング	・ ワンレングス、セイムレングスの切り方 ・ タオル、シャンプークロスのかけ方、 シャンプーの手順	
	6		・シャンプーイング ・ワインディング	・ ワンレングス、セイムレングスの切り方 ・ タオル、シャンプークロスのかけ方、 シャンプーの手順	
	7		・シャンプーイング ・ワインディング	・ シャンプーテスト ・ ワインディングタイム	
	8		・ワインディング	・ ワインディングタイム	
	9		・ワインディング ・ブロー ・カラー塗布	・ブロー（ドライヤー、ブラシの使い方・ ワンレブロー） ・カラー塗布（白髪染）	
後期	10		・ワインディング ・ブロー ・カラー塗布	・ブロー（サイドレイヤー・ショート） ・カラー塗布（ヘアマニキュア、おしゃれ染め）	
	11		・ワインディング	・ 国家試験巻きの説明 ・ デザイン巻き	
	12		・ワインディング	・ 国家試験巻きタイム	
	1		・サロン実習	・ 接客やマナーを学ぶ	
	2		・サロン実習 ・パーマ実習	・ 実際に薬剤を使ってパーマをかける	
	3		・ヘアセッティング	・ アイロン ・ 逆毛の立て方 ・ まとめ髪	
合計回数					

令和 8年度 シラバス

課目名 総合技術	授業形態 実習	単位（時間） 0～18(0～540)
テキスト 美容技術理論1・2（日本理容美容教育センター） 美容師国家試験課題集(理容師美容師試験研修センター)	対象学科 美容科	学年 2年
授業担当者 高谷 真紀子 長根 美佐子 蒔田 翠	担当教員の実務経験 【美容実務経験あり】別表参照	
授業の概要：国家試験で定められた課題を作成し、合格レベルまで反復練習を行い資格習得をする サロンワークに直結した内容を学び、美容師としての奥深さを知る		
教育目標：国家試験実技課題の知識と技術を身に付け、試験に合格できるようにする 美容師に必要なデザインカット、アップスタイル、デザインカラー技術を身に付ける		
評価方法： 美容実習の評価結果に基づき判断する		

授業計画

学期	月	予定 回数	項目	内容	備考
前期	4		第二課題ウェーブ ワインディング	課題作成の説明・注意点・ウェーブの基本 国家試験作成時間20分作品作成	
	5		ピンカール 展示作品・ワインディング	ピンカール4種類の作り方・注意点 カット・アップスタイルの作成、WD規定タイム	
	6		第二課題ウェーブ バックシャンプー	課題作成、全頭のバランス確認、注意点 シャンプーイング	
	7		第二課題ウェーブ ワインディング	課題作成、全頭のバランス確認、注意点 前期試験に向けての仕上がり確認	
	8		第二課題ウェーブ ワインディング	課題作成、全頭のバランス確認、注意点 前期試験に向けての仕上がり確認	
	9		ピンカール 展示作品・ワインディング	規定タイムで課題作成を目指す カット・アップスタイルの作成、WD規定タイム	
後期	10		第二課題ウェーブ 第一課題カット	規定タイムで課題作成を目指す 課題作成の説明・カット理論復習	
	11		第一課題カット 衛生面の説明	各ブロックブロックング・全頭カット 準備・注意事項確認	
	12		第一課題第二課題 衛生面チェック	国家試験本番の流れを通して、本番を想定する 規定タイムで課題作成	
	1		第一第二衛生 ネイル・エステ・着付け	国家試験本番の流れを通して、本番を想定する 規定タイムで課題作成	
	2		第一課題第二課題 衛生面チェック	国家試験本番の流れを通して、本番を想定する 規定タイムで課題作成	
	3		まとめ		
合計回数					

課目名 ネイル	授業形態 実習	単位（時間） 3(90)
テキスト JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～	対象学科 理容科・美容科	学年 1 年
授業担当者 稲村 有希 高谷 真紀子 舘前 麻美子	担当教員の実務経験	
授業の概要： JNAジェルネイル技能検定の取得を目標に、ネイルに必要な基本技術、知識を深める		
教育目標： 爪の健康を守るための知識と技術の習得		
評価方法： 単位認定は前・後期試験とも50点以上 授業の出席時間数80%以上		

授業計画

学期	月	予定 回数	項目	内容	備考
前期	4	3	ネイル基礎理論	道具の管理・消毒・準備・当番	
	5	12	ネイル基礎理論 ネイル技術	爪の構造と働き、用具の衛生管理、爪の病気、 ネイルケア ポリッシュカラーリング	
	6	15	ネイル基礎理論 ネイル技術	爪の構造と働き、用具の衛生管理、爪の病気、 ネイルケア ポリッシュカラーリング	
	7	6	ジェルネイル技術	ジェルネイル技能検定基本情報 ジェルオフ	
	8	3	ジェルネイル技術	ネイルアート作品作成（アクリル）	
	9	9	ジェルネイル技術	相モデルでの練習	
後期	10	12	ジェルネイル技術	検定モデルでの練習	
	11	9	ジェルネイル技術	ジェルネイル技能検予定	
	12	3	ジェルネイル技術	ジェルネイル技能検予定	
	1	9	ジェルネイル技術	ネイルアート作品作成（ジェル）	
	2	15	ジェルネイル技術	ネイルアート作品作成（ジェル）	
	3				
合計回数		96			

課目名 スタイリスト	授業形態 実習	単位（時間） 3(90)
テキスト P O R I C Aテキスト	対象学科 理容科・美容科	学年 1 年
授業担当者 川村 美幸 舘前 麻美子 高屋敷 健人	担当教員の実務経験	
授業の概要： PORICA の教育システムに基づき、検定に合格出来るように基本的な3つのカットスタイルを習得する。		
教育目標： 理・美容師に必要なカットテクニックや、カラー技術におけるウィービングテクニックを身につける。		
評価方法： 単位認定は前・後期試験とも50点以上 授業の出席時間数80%以上		

授業計画

学期	月	予定 回数	項目	内容	備考
前期	4	3	カット理論	カット理論・シザー開閉・シザーとコームワークの連携・ペーパーカットで姿勢の取り方	
	5	9	ワンレングス	ブロッキング・セクションの取り方・ペーパー切り・ワンレングス練習（タイム計測）	
	6	15	ワンレングス	ワンレングス練習（タイム計測）	
	7	9	ワンレングス レイヤー	ワンレングス 3 級検定（25分）PORICA筆記試験 レイヤー説明・ニットパネルで展開図	
	8	3		ペーパー切り・レイヤー練習（タイム計測）	
	9	9	レイヤー	ペーパー切り・レイヤー練習（タイム計測）	
後期	10	12	レイヤー グラデーション	レイヤー 2 級検定（25分）PORICA筆記試験 グラデーション説明	
	11	12	グラデーション	グラデーション練習（タイム計測）	
	12	6	グラデーション	グラデーション練習（タイム計測）	
	1	9	グラデーション カット技法	グラデーション 1 級検定（25分）PORICA筆記試験・レ ザー・ストローク・ポインティング・スライシングなどの 質感カットテクニック	
	2	9	カラー塗布 スタイル作り	展開図・ツープロック・ハイライト・ウィービング・ 自分でやりたいスタイル作り・カラー	
	3				
合計回数		96			

課目名 メイクアップ(フェイスアート)	授業形態 実習	単位（時間） 3(90)
テキスト 学校作成のプリント アイブロウトリートメント	対象学科 理容科・美容科	学年 1 年
授業担当者 川村 美幸 蒔田 翠	担当教員の実務経験	
授業の概要： 顔の構造から美を追求し人を美しくすることを目的として基礎を習得する		
教育目標： 美を意識し、実技だけではなく衛生面、接客等を身に着ける		
評価方法： 単位認定は前・後期試験とも50点以上 授業の出席時間数80％以上		

授業計画

学期	月	予定 回数	項目	内容	備考
前期	4	3	プロポーション	パーツの名称・理想のプロポーション	
	5	12	スキンケア	クレンジング・トーニング・プロテクティング	
	6	15	ナチュラルメイク ベースメイク	下地・コントロールカラー・ファンデーション・ コンシーラー・フェイスパウダー	
	7	9	立体メイク	ハイライト・ローライト・アイシャドウ・チーク・リップ・アイブロウ	
	8	3	前期試験の練習	アイモデルでのナチュラルメイク	
	9	6	アイブロウ理論	アイブロウカッティング・アイブロウの形	
後期	10	12	アイブロウ検定	アイブロウピースのカット練習・アイブロウ検定 3級(実技筆記試験)	
	11	9	傷メイク・眉カット	手や顔に切り傷ややけどのメイク・アイモデルでの眉カット	
	12	6	コンプレックス解消	顔の形に合わせてのメイク	
	1	6	宝塚メイク	男役メイク・女役メイク	
	2	15	メイクコンテスト 老け顔メイク・白塗りメイク	全校生徒の前でメイクコンテストの発表・しわやたるみくすみを描く・刷毛を使って粉白粉を塗る	
	3	0	おさらい	一年間の振り返り	
合計回数		96			

課目名 ブライダル（マリアージュ）	授業形態 実習	単位（時間） 3(90)
テキスト	対象学科 理容科・美容科	学年 2年
授業担当者 高谷 真紀子 稲村 有希	担当教員の実務経験	
授業の概要：着付けの理論と基礎技術の習得、自装・他装の着付けの仕方 洋装のアップスタイル、ブーケ作り		
教育目標： サロンワークで役立つよう、着付けの基礎をマスターすることが出来るようにする		
評価方法： 単位認定は前・後期試験とも50点以上 授業の出席時間数80%以上		

授業計画

学期	月	予定 回数	項目	内容	備考
前期	4	9	着物の各部の名称 補正のついて	着物の各部の名称 補正の仕方	
	5	9	他装、補正・長襦袢 着物、名古屋帯結び	相モデルで補正、長襦袢着付け 着物の着せ方、名古屋帯の結び方	
	6	12	自装浴衣の着方 半幅帯	自装、浴衣の着付け、半幅帯のいろいろな結び方	
	7	6	他装、着物・名古屋 帯	自装、浴衣の着付け、半幅帯のいろいろな結び方	
	8	6	他装、着物・名古屋 帯	他装、前期試験の向けてタイムを計る 袋帯の結び方	
	9	9	他装、留袖着付け 自装	留袖着付け・袋帯結び 自装	
後期	10	15	他装、留袖着付け	留袖着付け・袋帯結び、全体のバランス	
	11	15	他装、留袖着付け フラワーアレンジメント	着付けのおさらい、全体のし上がりチェック 花嫁用、新郎用のブーケづくり	
	12	3	フラワーアレンジメント	花嫁用、新郎用のブーケづくり	
	1	6	洋装用アップスタイル	洋装アップスタイルの仕方	
	2	6	洋装用アップスタイル	洋装アップスタイルの仕方	
	3				
合計回数		96			

課目名 エステ（ヒーリングエステ）	授業形態 実習	単位（時間） 3(90)
テキスト 日本エステティック協会	対象学科 理容科・美容科	学年 2年
授業担当者 笹山 留美子 長根 美佐子	担当教員の実務経験	
授業の概要： ソワンエステティックについて理解し、基礎的な心遣いを学ばせる		
教育目標： エステティックの統一自主基準について知り、法令算遵守の必要性を学ぶ		
評価方法： 単位認定は前・後期試験とも50点以上 授業の出席時間数80％以上		

授業計画

学期	月	予定 回数	項目	内容	備考
前期	4	6	理論・実技	エステ概論 生命活動とホメオスタシスワゴンセッティングの仕方、準備、かたづけ、消毒等の説明	
	5	12	理論・実技	エステ概論 生命活動とホメオスタシスワゴンセッティングの仕方、準備、かたづけ、消毒等の説明	
	6	12	実技	ポイントメイク落とし、スポンジの拭き取り ハンドクレンジング、ブラシクレンジング	
	7	9	理論・実技	皮膚の仕組み、ハンドクレンジング、ブラシクレンジング 化粧品の種類と働き、体の仕組み	
	8	6			
	9	9	理論・実技	栄養の基礎知識	
後期	10	12	実技	衛生と消毒、ハンド・ブラシクレンジング、 吸引、パック、拭き取り	
	11	9	実技	ハンド・ブラシクレンジング、アロミスト、 吸引、パック、拭き取り	
	12	3	理論・実技	ディプロマ試験対策	
	1	6	理論・実技	理論試験、実技試験	
	2	12	実技	まとめ	
	3				
合計回数		96			

課目名 マツエク	授業形態 実習	単位（時間） 3(90)
テキスト まつ毛エクステンション (日本理容美容教育センター)	対象学科 理容科・美容科	学年 2年
授業担当者 長根 美佐子 蒔田 翠	担当教員の実務経験	
授業の概要： 衛生の大切さ、安心安全を第一の説明し、サロンに入ってから実践で役に立つ実習を行う		
教育目標： まつ毛エクステンションは、安心安全を確保するため、必要な事項を徹底して習得させる		
評価方法： 単位認定は前・後期試験とも50点以上 授業の出席時間数80%以上		

授業計画

学期	月	予定 回数	項目	内容	備考
前期	4	9	・まつ毛エクステンションとは ・まつ毛エクステンションの用具	・まつ毛エクステンションの安全、衛生について ・用具の説明	
	5	12	・衛生管理・道具表示 ・ツイーザー・エクステンションの 持ち方	・消毒の重要性・ツイーザーを扱い方・各道具に表示を つけさせる・まつ毛エクステンションの装着の仕方と装 着	
	6	15	・テープワーク ・まつ毛かき分けの仕方	・各テープの使い方を説明・ツイーザーを使っのまつ 毛のかき分け方・片目にまつ毛エクステンションの装着	
	7	6	・保健・片目装着の仕方	・目に関する知識 ・皮膚に関する知識 片目にまつ毛エクステンション装着	
	8	6	・保健・両目装着の仕方	・まつ毛に関する知識 ・両目にまつ毛エクステンション装着	
	9	6	・保健・両目装着の仕方	・まつ毛に関する知識 ・両目にまつ毛エクステンション装着	
後期	10	15	・装着・リムービング仕 方	・両目にエクステンション装着 ・エクステンションのオフの仕方	
	11	9	・カウンセリング・まつ毛エ クステンションオフ	・まつ毛エクステンションのメリット、デメリット ・ アレルギーについて ・まつ毛エクステンションのオフ	
	12	3	・まつ毛エクステンション装 着とオフ	・カウンセリングシートの使い方 ・まつ毛エクステンション装着（両目60本以上）	
	1	6	・まつ毛エクステンション装 着とオフ	・ディプロマ試験対策	
	2	9	・まつ毛エクステンション装 着とオフ	・ディプロマ試験対策 ・試験	
	3				
合計回数		96			

課目名 カウンセリング	授業形態 講義	単位（時間） 1(30)
テキスト ビジネスマナー（日本理容美容教育センター）	対象学科 理容科・美容科	学年 1年
授業担当者 黒沢 宣仁 舘前 麻美子	担当教員の実務経験	
授業の概要： 社会人として必要なマナーや接客に対しての基礎を学ぶ		
教育目標： 理・美容師として接客の基礎、社会人としての基礎の定着を目指し知識を深める		
評価方法： 単位認定は前・後期試験とも50点以上 授業の出席時間数70%以上		

授業計画

学期	月	予定 回数	項目	内容	備考
前期	4	4	社会人としての基礎	職場での基本モラル	
	5	6	社会人としての基礎	職場での基本モラル	
	6	10	正しい動作	挨拶、基本動作	
	7	4	正しい動作	挨拶、基本動作	
	8	2			
	9	6	言葉づかい	話し方、聞き方、敬語	
後期	10	8	言葉づかい	実践トレーニング	
	11	6	接客の基礎	接遇、接客対応、実践トレーニング	
	12	4	電話対応	電話の受け方、かけ方	
	1	4	復習	後期試験に向けての復習	
	2	8	一般常識、各種マナー	名刺交換、紹介、座席の順番	
	3	2	履歴書の書き方		
合計回数		64			